



女子ソフト



ジュニア競技力向上へ 高崎でウツギ・カップ

高崎市と上毛新聞社は、15歳以下（U-15）の女子ソフトボール世界大会「UTSUGI CUP U-15 in 高崎」を6月6、7の両日、同市井出町の宇津木スタジアム（市ソフトボール場）＝写真右＝で初開催する。国内外のソフトボール界で知名度が高い元日本女子代表監督で世界野球ソフトボール連盟理事、宇津木妙子さん（66）＝同左＝の名を冠し、各国の育成年代の競技力向上につなげる。日本、中国、イタリア、

6カ国参加し 6月に初開催

高崎市と上毛新聞社

メキシコ、タンザニア、米国の6カ国が参加する。

6日に3チーム一組による1次リーグを行い、7日に各組の同じ順位同士による順位決定戦を行う。各国代表選手が集まる予定で、日本は今

後選出されるU-15ナショナルチームが参加する見通し。

富岡賢治市長は「ソフトボールシティー高崎の名を全国に広められる。ジュニア世代の選手を応援したい」、大会に協力する宇津木さんは「未来ある子どもたちにソフトボールを通じて夢や希望を与えられるよう、大会を成功させたい」とコメントした。

高崎市はスポーツによるまちづくりを進めており、大会はその一環。